

「みんなで目指すまちづくり指標」の考え方

—高浜市総合計画審議会（第3回：H25.8.28）における中川幾郎会長からのコメントより—

1. 設定にあたって

(1) 「市民意識調査」の設問数は絞り込む

- ・設問が多いと回収率が低下する。（市民が“回答疲れ”を起こす）
- ・コストがかからないデータ（例：統計等から拾えるデータ）の活用も検討する。

(2) 理想論ではなく、実務で使える指標を設定する

- ・計測することが可能な指標か？
- ・計測にあたって、余分なコスト（経費・労力）がかかることはないか？

(3) 取り組みと指標は相関関係にある

- ・施策や事業を実施した結果が、指標の改善に結びつくかどうかを考えて、設定する。

2. 指標の種類

(1) プロセス指標（活動指標）

結果を出すために、どのような活動をしたのかを把握する（例：〇〇〇の回数）

(2) 成果指標

- ①意識で把握する（例：□□□□と感じている人の割合）
- ②行動傾向で把握する（例：□□□□している人の割合）
- ③結果で把握する（例：□□□□の人数）